

浦 監 第 84 号  
平成 16 年 12 月 22 日

浦安市監査委員	醍 醐	敦
同	菊 原	栄 三
同	平 野	芳 子

平成 16 年度定期監査（環境部）の結果報告について

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により実施した定期監査の結果について、同条第 9 項の規定により別紙のとおり公表します。

## 平成16年度定期監査（環境部）の結果報告書

### 1. 監査の範囲

平成16年4月1日から9月30日に執行された財務に関する事務の執行等

### 2. 監査対象部局

環境部

### 3. 監査の実施期間

平成16年10月1日から11月29日

### 4. 監査の観点及び方法

予算及び事務の執行等が法令等に従って適正かつ効果的に行われているかを主眼に書類審査、質問審査を実施した。

### 5. 監査の結果

次の事項について、改善、検討の必要があると認められた。

#### (1) ごみゼロ課

資源回収事業奨励補助金については昭和57年度から交付されているが、社会の環境に対する意識の変化に伴い、市民のごみ分別意識も定着していると認識される。報告によると古紙等1kgにつき10円の補助金は、他市に比べ高水準となっていることから、適正な補助金交付基準に見直しされたい。

資源回収事業者団体補助金については、平成4年度に古紙価格の下落という状況を受けて創設され、平成5年度から総重量1kgにつき4円の補助金を交付して12年経過している。古紙価格等の状況に応じて対応可能なシステムづくりを検討されたい。

各種ごみ収集業務委託については長く一社随意契約が続けられているが、競争原理の導入は民間の創意工夫を取り入れ、効率化を図ることにある。入札への流れを先取りし研究を進められたい。

( 2 ) クリーンセンター

びん缶選別業務委託、紙類選別運搬業務委託、処理不適物選別業務委託については、それぞれ業務委託の開始時より長く一社随意契約が続けられている。これらの業務は、単純に経費の削減を図るものではないと考えられるが、契約額は近隣市と比べ安価とは言いがたい。契約に当たっては、業務内容を精査し、効率化を図り透明性を確保する方策を検討されたい。

( 3 ) 環境レンジャー課

所管が市以外の施設等の落書き消去については、管理者と協定書を締結する等文書により取り決め、実行されたい。